

学習内容報告書 フォーマット

学校名	関大初等部
授業者	孕石 泰孝

1. 単元計画

1 時間目 海の生き物について調べよう

2 時間目 即興劇「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動」

1-1. 単元名

生き物のくらしと環境「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」

1-2. 学年

小学6年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4. 単元の概要

海の生き物の特徴や能力を調べ、調べたことを短い劇にして言葉や身体で表現して伝える。様々な特徴や能力を知り、他の班の発表を見ることで、海の豊かさを知り、海を守ろうとする心を育む。

1 コマ目は調べ学習を行い、その内容を元に、外部講師と教員が協力して、「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」のプロットを作成する。

2 コマ目は外部講師を招き、「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」というシナリオを即興劇の形で進める。シナリオの進行には、「海の生き物の生息環境について発表する」ことが必要であり、調べ学習や小集団での話し合いを元に、外部講師と協力して即興劇を進め、海洋生物の生息環境および海の豊かさへの興味を喚起する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

海洋に生息する生物の特徴からその生息環境について考える学習に取り組む。人間にとっては一見過酷な環境でも、適している生物がいることに思いをはせることができる。その中で、海の環境の多様さについて感じ、また人間との関わりについても関心を持ってほしい。

調べ学習で各々が調べた後、外部講師を招いて劇の形にするという目標を持つことで、楽しみながら小集団の中で知識を共有し、課題を検討することを目指す。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

・海には様々な環境あり、それに適した特徴を持った生物が生息していると理解することができる（知識及び技能）

・調べた内容や知識を人に伝えることができる（思考力・判断力・表現力等）

・海の豊かさを知り、尊重する態度を育てる（学びに向かう力・人間性等）

1-7. 単元の展開 (全 2 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>1. 海の生き物について調べ学習を行う。【一斉】</p> <p>(1) 海の生き物をひとつ選び、その生息地域や環境を調べる。(・温度・地域・深さ・他の住民＝生物)</p> <p>(2) 生き物を「不動産会社に訪れるお客様」に見立てて、オススメポイントを考える。</p> <p>2. 調べた内容をタブレットのキーノートにまとめ、提出する。【一斉】</p>	<p>(電子配布)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋ワークショップ不動産ワークシート
2	<p>1. 今日の授業のみとおしを持つ。【一斉】</p> <p>(1) 外部講師による「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」のデモンストレーションを見る。</p> <p>(2) 小集団に分かれて、担当の生物を知る。</p> <p>2. 担当の生物にオススメする「物件」のプレゼンテーション方法を話しあい、検討する。【小集団】</p> <p>3. 「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」即興劇【一斉】</p> <p>(1) 児童は「竜宮城不動産」の先輩社員として後輩役のアシスタントをサポートする形で、画面に現れるお客様（海洋生物）に物件を案内する。 (海洋生物は、支店長役の講師が「～って言ってますね」という伝聞の形でやり取りをする)</p> <p>4. 海の生き物の生息環境について考える。【一斉】</p> <p>(1) 感想を書き、発表する。</p> <p>(2) 教員からのまとめ</p>	<p>(教師の指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の調べ学習を元に劇を作ることを指示する。 <p>(主な評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物の持つ様々な特徴やそれいに適合する環境を考慮しているか。 ・知識や仮説を他の人と共有できているか。 <p>(外部連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団員 2名：支店長役と新入社員役として即興劇を進行する。 <p>(パワーポイントの映写)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

1 時間目にクラスメイトが調べた生き物の特徴とそれに適した生息環境を知り、担当する生き物に適切か、小集団で検討することができる。
即興劇の中で、検討を元に、その能力をどう使うか発表することができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 今日の授業のみとおしを持つ。【一斉】</p> <p>(1) 外部講師による「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」のデモンストレーションを見る。</p> <p>不動産会社の朝礼風に始まり、新入社員が今日初めて接客をするので先輩社員である児童に手伝って欲しいと伝える。</p> <p>支店長役「新入社員の〇〇さん。今日、初めてお客様をご案内するわけだけれども…。その前にシミュレーションしてみようか」</p> <p>新入社員役「はい！」</p> <p>(新入社員、海の生き物に対して、人間が快適な住まいを案内してしまい、失敗する)</p> <p>支店長「どうしよう…今日は、これだけのお客様が来店する予定なのに…(児童に)先輩社員の皆さん。手伝ってもらえる？」</p> <p>(2) 小集団に分かれて、担当の「海の生き物」を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none">・外部講師を紹介する。
<p>2. 課題を解決するためには、どの生き物の能力が必要か話しあい、検討する。【小集団】</p>	<ul style="list-style-type: none">・クラスを7～8班の小集団に分ける。ひと班に一名以上は「担当のお客様（海の生き物）」に適した環境を調べた児童が入るように予め組んでおく。
<p>3. 「快適な住まいをあなたに～竜宮城不動産」を即興劇で進める【一斉】</p>	<ul style="list-style-type: none">・前回の調べ学習で提出した不動産ワークシート・キーノートデータを参考にするよう支援。

(1) 児童は「不動産会社の先輩社員」として海の生き物にプレゼンテーションを行う。

例) お客様が「ウミガメ」

一同「いらっしゃいませ。ようこそ竜宮城不動産へ」
支店長「(画面に耳を近づけて) ふんふん、最近出産を考えているので、引越しをしたい…と」

新入社員「おめでとうございます。それなら、病院が近い都会の海がいいですかね」

支店長『(ウミガメの代弁) えーっ。人間が多いところはゴミも多いでしょう？親戚が、クラゲと間違えて白いふわふわしたものを食べて喉を詰まらせたことがあって…』…ちょっと！〇〇くん、他のオススメは！？」

新入社員「…(児童に)先輩、助けてください…！」

先輩(児童)「そんなウミガメ様にはこちらの物件はいかがでしょうか？<生息地域の特徴やオススメポイントをプレゼンする>」

・児童が説明を続ける場合は、外部講師はそれを受けて演技をする。

(2) 最後にお値段を聞くと、画面に「契約成立」の文字が出る。次のお客様がやってくる。

4. 海の生き物の特徴やその生息環境について考える。【一斉】

(1) 感想を書き、発表する。

教員「今日は、普段の理科の授業とはだいぶ違っていました。前回の授業で調べた生き物がどんなところで生きているのか？ということがこんなお話になるとは思いませんでした」

「前回の調べ学習と、今日の活動を通して感じたことを書いておきましょう」

・「契約成立」のパワーポイントを表示し、次の海洋生物のスライドへ。

・タブレットに感想を書くよう指示する。

3. 今回の活動の自己評価

5年生の活動の後に実施したことで、思春期に入ってきた6年生向けの設定を作成することができた。海洋生物を不動産会社の客として見立てることで、海には多様な生き物が生息し、様々な環境で生息しているということを、楽しみながら理解できる内容にすることができた。

児童の感想でも「海洋ワークショップにちなんで『水温図・周辺地図・生き物の写真』とアレンジできたのも楽しい要因の一つでした。」「みんなの意見を聞く際に面白い情報であったり意外な情報があったり話が膨らみました」「私たちがまだまだ自然を破壊し続けたら、不動産業界に土地がなくなって不動産業界だけじゃなく、海全体が倒産するんだなということも感じました。」等、単元の目標にかなう内容となった。

4. 今後の課題

1時間目の調べ学習「不動産ワークシート」の段階で「なぜこんな不動産ごっこのようなことをするのかと思った」「こういう形での発表ならもう少し調べられたかも」という感想もあり、1時間目に2時間目の見通しをどのように伝えるかが課題となった。

また、不動産ワークシートの物件概要の項目（温度・地域・深さ・他の住民・その他・オススメポイント）について、さらに学習を深める項目がないか、検討してみたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

事前学習の段階では、興味喚起のために、児童には好きな海洋生物を選ばせて調べさせる。

しかし、ワークショップで、児童の人数と同じ数の生物を取り上げることはできない。45分という時間を考えれば、最大でも7つが限界である。事前に、その7つを決めておく必要がある。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝，10.5ポイント / マージン：上下端20mm，左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。